



さの あつし
佐野 孜
(富岳会)

日本一水流落差のある小水力発電の工夫

問 用水路における個人用水力発電の方法。

部長 氾濫等安全性を優先し、河川管理者との協議の上、新たな水路に発電機を設置する。原則、直接河川や水路には設置できない。

市長 小水力日本一のまちとして、小河川、農業用水路に発電機を設置できればと考える。法的な問題点を今後検討していく。

問 小中学生自由研究での発電システム募集。

教育長 自由研究としても、エネルギー環境を考えていく上でも意義のある研究になる。

要望 昔、水車小屋があった場所への設置や、補助が可能になればと思う。

耕作放棄地の対策と農業への就労促進の方法

問 耕作放棄地増加傾向の現状とその要因。

部長 農地の形状、鳥獣被害、生産物販路、後

継者不足、農業従事者の不足等が考えられる。

問 農業生産力の向上について。

部長 農業新3K、「感動」「カッコいい」「稼げる」がある。生産力と品質の向上を目指したい。

教育委員会の理念に基づく新たな教育方針

問 教育委員会の学校訪問の観点について。

教育長 魅力ある学校づくりの推進支援、確かな学力が育つ授業、教職員の資質、能力、意欲と学校組織活性化、安全安心な教育環境づくり。

問 教育委員会の研修について。

教育長 全ての教科に責任者、学校指導員、研究員を置き、公開授業実施。

問 不登校児童生徒対策について。

教育長 不登校児童生徒は増加傾向、青少年相談センターの適応指導教室で支援指導。

問 部活動とスポーツ少年団活動について。

教育長 部活動は市教育委員会部活動ガイドラインに沿って地域人材、保護者、部活動顧問で活動。夜間や休日に活動するスポーツ少年団はスポーツ庁の働き方改革を踏まえて活動する。



さの としお
佐野 寿夫
(公明会)

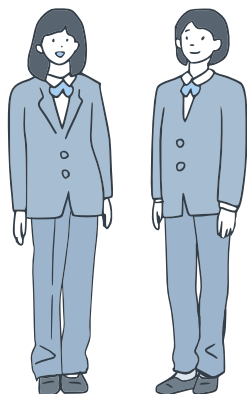
中学校での制服の見直しについて

問 女子用スラックスの導入を検討している中学校と進捗状況について伺う。

教育長 市内公立中学校6校において検討を進めていると報告を受けている。教師主導ではなく、生徒からの要望を大切に作る形で進める。

問 性の多様性をほかの人たちに知られたい生徒への対応について。

教育長 子どもたち自身から防寒や動きやすさを重視した制服としての要望があつてこそ、多様性に配慮した制服の選択制導入が実現できるものとする。



新型コロナウイルスワクチン接種の取組について

問 障がい者や在宅の医療的ケア児者へのきめ細かな配慮はどうか。

部長 在宅で生活している方は、かかりつけ医に相談の上、自宅で接種いただくことを想定している。かかりつけ医での接種が困難な方には、バリアフリー対策のある施設で、日程調整の上、実施する方向で計画を進めている。

問 須藤市長の取組への思いを伺う。

市長 高齢者接種については接種完了までの見通しがついた。今後は64歳以下の接種を進めていく。同報無線で195回の新型コロナ対策について市民に注意を呼びかけている。引き続き全力で取り組んでいく。

選挙支援カードを提案するかどうか

問 導入する考えはあるか。

部長 選挙人に寄り添った対応を行っている。現状においても選挙支援カードの対応と同様の支援ができていくものとする。